

令和8年度 広島大学歯学部同窓会卒後研修会

インプラント治療の現在地 ～最新エビデンスに基づいた臨床戦略～

インプラントをどう使えば機能回復はもちろん天然歯列の長期維持に有効なのか？
硬軟組織造成 VS 低侵襲治療 即時埋入 VS 遅延埋入 等、日常臨床において悩む
場面への2026年時点での最適解を解き明かし、GPの先生方が明日から応用できる
インプラント治療を提示したい。

日 時

令和8年
10月25日(日) 10:00～16:00

場 所

TKP駅前大橋

広島県広島市南区京橋町1-7
JR線：広島駅 中央改札 徒歩5分 広島電鉄：稲荷町駅 徒歩3分
※会場には駐車場のご用意はございません。
お車で越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

申込締切

令和8年
9月26日(土) 定員に達した場合は
早期に締め切らせていただきます

講演会受講料(昼食代を含む)
※広島大学出身以外の方も申込みいただけます

- 歯科医師
..... ¥12,000
- 歯科衛生士、その他
..... ¥7,000
- 広島大学歯学部 卒後5年目までの方
広島大学歯学部 学生
..... 無料

(QRコードからお申込をお願い致します)

申し込み方法【事前申込が必要です(当日受付は行っていません)】

Step 1 申込フォーム入力

※なるべく医院単位でお申込下さい

無料招待の方はStep2は不要です

●方法1:

広島大学歯学部同窓会ホームページ内の当該学術講演会の
バナーをクリック→申込フォームから入力

●方法2:

QRコードから入力



受講申込の記載欄は全てご記入ください(新興感染症の流行等、不測の事態が生じた場合には、中止のご案内等をさせていただくことがあります)

Step 2 受講料振込

- ・振込手数料はご負担願います
- ・入金後のキャンセルによる受講料の返金は原則いたしかねますのでご了承ください
- ・領収書の発行はございません(振込明細をもって代えさせていただきます)

振込先

銀行口座：ゆうちょ銀行 一三九支店 当座 0036572 広島大学歯学部同窓会 卒後研修委員会
ゆうちょ銀行 振替口座：01330-8-36572

Step 1、Step 2 確認後受付完了とさせていただきます、受講票を郵送いたします

注)「広島大学歯学部同窓会費未納で資格停止会員」は、お申込出来ません。
広島大学歯学部同窓会事務局【開局時間：火～金 10:00～12:00】(082) 257-5799にご連絡いただき、資格回復手続きを行った後、再度お申込ください。

問合せ先

広島大学歯学部同窓会卒後研修委員会 申込受付事務局(レタープレス株式会社内)
Eメール: shigakubudousoukai@letterpress.co.jp



講師

増田 英人

(ますだ ひでと)

大阪府豊中市 ますだ歯科医院

2001年 広島大学歯学部卒業(31回生)

2008年 ますだ歯科医院開設

ITI fellow, ICOI diplomate, ITI SC京都ディレクター, OJ理事

近 著

- 連載：令和版 軟組織のトリセツ
クインテッセンスデンタルインプラントロジー 2024年3月～2026年3月
- インプラントYEARBOOK 2026
クインテッセンス出版 2026年
- 骨補填材料&メンブレンYEAEBOOK 2025 / 2026
クインテッセンス出版 2025年
- VISTAテクニックのペリオ・インプラント治療への
臨床応用の可能性を探る
ザ・クインテッセンス 2024年1月
- 骨補填材料&メンブレンの歴史的変遷と最新トレンド
クインテッセンス出版 2019年

シラバス

1 インプラント治療の価値

天然歯列維持や機能回復、長期予後という観点から現代におけるインプラント治療の有効な使い方を再確認したい。

2 インプラント治療における「常識」のアップデート

かつての常識も今となっては間違いと分かったことも多々あります。日常のインプラント臨床に必要な知識をアップデートしよう。

3 硬組織造成はどこまで必要か

骨造成技術の進歩と相反する低侵襲治療の要望の中で、GBR、ショート・ナローインプラントをどう使い分けるかなどの判断基準を明確に。

4 インプラントを守る軟組織マネジメント

長期安定と審美性を獲得するために必要な軟組織マネジメントについて、最新の知見と実践的なアプローチを身に着けたい。

5 Immediacyの現在地

即時埋入・即時修復はどこまで予知性の高い治療となったのか。低侵襲かつ短期間で治療を行うための考え方と実践法を解説したい。

6 デジタルの応用と落とし穴

デジタル技術がインプラント治療をどう変えたのか。その恩恵と注意点を、実際の臨床経験を交えて紹介する。